

令和6年11月27日

総務大臣 殿

株式会社ジェイコム札幌

代表取締役社長 寺尾 弘一

事後評価報告書（再評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

(1) 工事完了日 : 令和2年2月28日

(2) サービス開始日 : 令和3年3月18日

2. 目標達成状況（累計）

指 標	目 標 (目標年度)	(実績値/目標値)			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年 9月末
家庭用 Wi-Fi の設置数	7,854 台 (令和5年度)	9,970/7,053	8,420/6,400	9,163/7,854	【参考】 9,325/7,854

※令和4年に一部エリア未実施に伴うサービスエリアの削減により補助金を返納し、目標台数に変更が生じている（10,739台→7,854台）。

※無線局の開設数の計上方法は、無線(Wi-Fi)内蔵ケーブルモデムの設置数の累積数

(参考)

提供可能回線数	利用回線数			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年 9月末
68,000 回線(令和元年度)				
51,500 回線(令和4年度以降)	12,325 回線	9,971 回線	10,368 回線	10,492 回線

※令和4年に一部エリア未実施に伴うサービスエリアの削減により補助金を返納し、提供可能回線数に変更が生じている。

※利用回線数の計上方法は、NET用ケーブルモデムの設置数の累積数(推定値)

3. 目標達成に向けて実施した取組

コロナ禍により、積極的なキャンペーン活動は自粛したが、販売促進の実施とリモートワークの増加や IoT デバイスの急速な普及により家庭用 Wi-Fi の需要が増加し達成となった。

利用回線数の増加に関しては、インターネットサービス加入に「新規加入工事費実質 0 円キャンペーン」及び「スタート割」としてキャッシュバックキャンペーンを行い、新規加入時の負担を軽減した。

また、訪問による営業活動を実施し、サービスエリア内各所において加入相談会を開催するとともに、テレビ等の広告を行い加入者増加のための取組を実施した。

4. 評価

家庭用 Wi-Fi の設置数 9,163 台：令和 2 年度より順次 1G サービス (Wi-Fi 内蔵) 開始を行っており、リモートワークの普及等により早期に目標達成となった。

利用提供数は無線モデムと通常モデムの合計値となっており、令和 3 年末の無線モデムと通常モデムの比率 80.9% (9,970/12,325) に対し、令和 6 年 9 月末の比率は 88.9% (9,325/10,492) と 8 ポイントの向上が見られ、本施策の成果が認められる。

提供回線数は 20% と伸び悩んでおり更なる対応が必要と考えている。提供回線の向上については、ケーブルテレビ事業とともに提供しているサービスメニューのインターネットを含む固定電話、モバイル電話、電気を一般に広く認知の向上を図り、使いやすさ、料金等の利用者のメリットを伝えることが必要であるとの認識している。

そのために、新型コロナウイルスの影響により一時中断し、再開した営業部員による訪問による営業活動をより積極的に行い、提供サービスメニューの詳細な説明を行うことにより、インターネット事業のより浸透を図る。

また、テレビ広告、インターネット広告等をより積極的に行うこととし信頼性の高いブランドとして認知を広げることで、多くのお客様に安心して加入していただける環境を整え、さらなる加入増加を目指す。

更に、新規加入者に対する負担軽減キャンペーンを引き続き実施し、大学生、新社会人等の若年者を対象としたキャンペーンを実施するなど、加入の増加に結びつきやすいキャンペーンを実施することが必要と認識している。